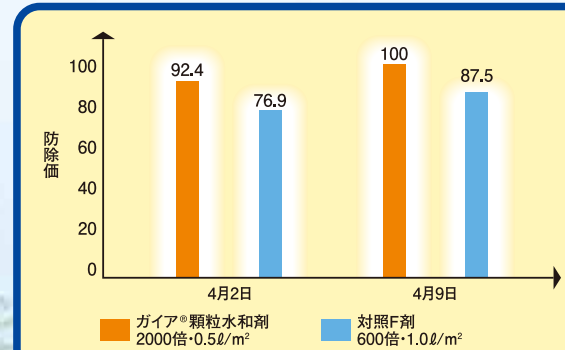


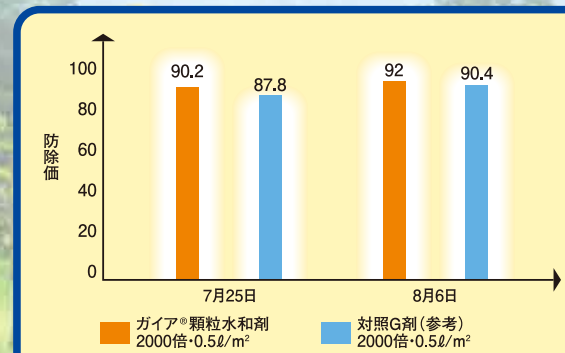
各種病害に対する効果(西洋芝:ペントグラス)



疑似葉腐病(イエローパッチ)

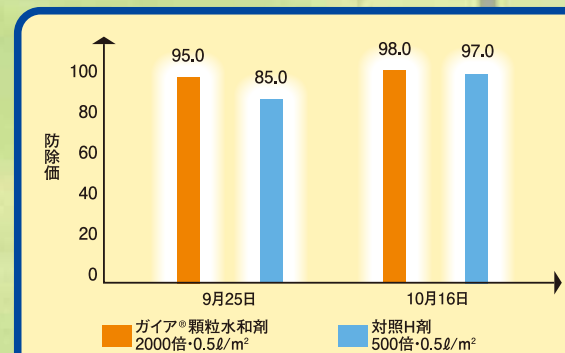
- 平成24年度 新中国グリーン研究所
- 発生状況:多発生
- 品種:ペントクロスペントグラス
- 処理:3月22日に所定の水量で希釈し、園芸用ジョロで散布した。
- 調査:4月2日、9日に、試験区内に発生したパッチ面積率を測定した。
- 考察:対象薬剤と比較して高い防除効果を示したことから、実用性が高いと考えられる。なお、葉害は認められなかった。

低温期病害



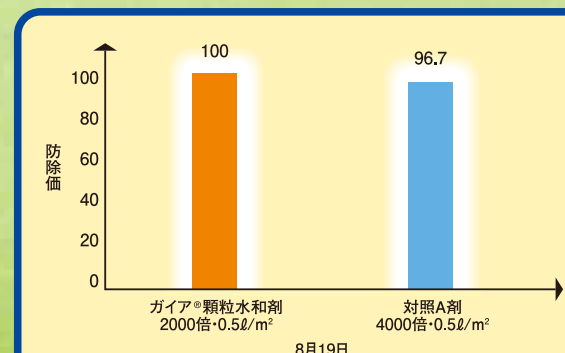
デッドスポット病

- 平成25年度 新中国グリーン研究所
- 発生状況:中発生
- 品種:ドミネントペントグラス
- 処理:7月11日、25日に所定の水量で希釈し、園芸用ジョロで散布した。
- 調査:7月25日、8月6日に、試験区内に発生したパッチ面積率を測定した。
- 考察:無処理区と比較して高い防除効果を示したことから、実用性が高いと考えられる。なお、葉害は認められなかった。



炭疽病

- 平成17年度 西日本グリーン研究所
- 発生状況:中発生
- 品種:クレーピングペントグラス
- 処理:9月16日、9月26日、10月6日に所定の水量で希釈し、園芸用ジョロで散布した。
- 調査:9月25日、10月16日に、試験区内に発生した発生面積を測定した。
- 考察:対照剤と比較してほぼ同等の防除効果を示したことから、実用性が高いと考えられる。なお、葉害は認められなかった。



葉腐病(ブラウンパッチ)

- 平成15年度 香川大学農学部
- 発生状況:甚発生
- 品種:ペントグラス
- 処理:7月28日に所定の水量で希釈し、ジョロで散布した。
- 調査:7月28日、8月7日、8月19日に、試験区内に発生したパッチ面積率を測定した。
- 考察:対照剤と比較して高い防除効果を示したことから、実用性が高いと考えられる。なお、葉害は認められなかった。

薬剤名	最終散布後日数28日病徴*	
ガイア®顆粒水和剤 (2000倍・0.5ℓ/m ²)	I区	±
	II区	±
	III区	±
対照A剤 (2000倍・0.5ℓ/m ²)	I区	±
	II区	±
	III区	±

*病徴は5段階で評価 明瞭+++ ++ + ± なし

フェアリーリング病(ホコリタケ)

- 平成16年度 西日本グリーン研究所
- 発生状況:中発生
- 品種:ペントグラス
- 処理:9月15日に所定の水量で希釈し、園芸用ジョロで散布した。
- 調査:9月15日、10月13日に発病調査を行った。
- 考察:対照剤と比較して同等の防除効果を示したことから、実用性が高いと考えられる。なお、葉害は認められなかった。

適用病害と使用方法

2023年6月現在

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンチオピラドを含む農薬の総使用回数
西洋芝 (パーミュダグラス)	ダラースポット病	2000倍	0.5ℓ/m ²	発病初期	8回以内	散布	8回以内
	カーブラリア葉枯病	400倍	0.1ℓ/m ²				
西洋芝 (ペントグラス)	ダラースポット病	400倍	0.1ℓ/m ²	秋～春期	8回以内	散布	8回以内
	フェアリーリング病 炭疽病 葉腐病(ブラウンパッチ) デッドスポット病	2000倍	0.5ℓ/m ²				
	疑似葉腐病(イエローパッチ)	400倍	0.1ℓ/m ²				
	雪腐小粒菌核病	2000倍	0.5ℓ/m ²				
西洋芝 (ライグラス)	雪腐小粒菌核病	400倍	0.1ℓ/m ²	根雪前	8回以内	散布	8回以内
西洋芝 (ブルーグラス)	雪腐小粒菌核病	2000倍	0.5ℓ/m ²				
日本芝	疑似葉腐病(春はげ症)	2000倍	0.25ℓ/m ²	休眠期前	8回以内	散布	8回以内
	葉腐病(ラージパッチ)		0.25～0.5ℓ/m ²	発病初期			
	カーブラリア葉枯病						
	フェアリーリング病 さび病		0.5ℓ/m ²	秋～春期			
ネクロティックリングスポット病	発病初期						
日本芝 (こうらいしば)	ダラースポット病						

使用上の注意事項

効果・葉害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 散布液調整後はできるだけ速やかに散布してください。
- 散布液調整の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用は避け、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- 蜜に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、散布液調整時及び散布の際は保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ○防除日誌を記帳しましょう。

*本剤は芝用殺菌剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
*本印刷物は2023年6月現在の資料。情報、データ等につきましては最新情報、記載マーク及び記号は各社代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

ガイア®顆粒水和剤

販売

株式会社理研グリーン

東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 8階

TEL:03-6802-8571

URL:http://www.rikengreen.co.jp

販売

株式会社エムシー緑化

東京都中央区日本橋本町1-19-1

TEL:03-5290-2956

URL:http://www.mc-nyokka.com

技術資料

理研ガイア顆粒水和剤
農林水産省登録 第22357号

ガイア顆粒水和剤
農林水産省登録 第22211号



難防除病害
ネクロティックリングスポット病に!

低温期病害
イエローパッチに!

「いつ」でも使える。「いろいろ」使える。
年間を通じて芝草病害防除に活躍します。

日本芝・西洋芝の病害を幅広く防除する総合殺菌剤

ガイア®顆粒水和剤

特長

1. 幅広い病害スペクトラムを有する。

本剤はダラススポット病、フェアリーリング病、炭疽病、葉腐病(ブラウンパッチ、ラージパッチ)、雪腐小粒菌核病、疑似葉腐病(春はげ症、イエローパッチ)、カーブラリア葉枯病(犬の足跡)、さび病、ネクロティックリングスポット病、デッドスポット病等の幅広い病害に優れた効果を示します。

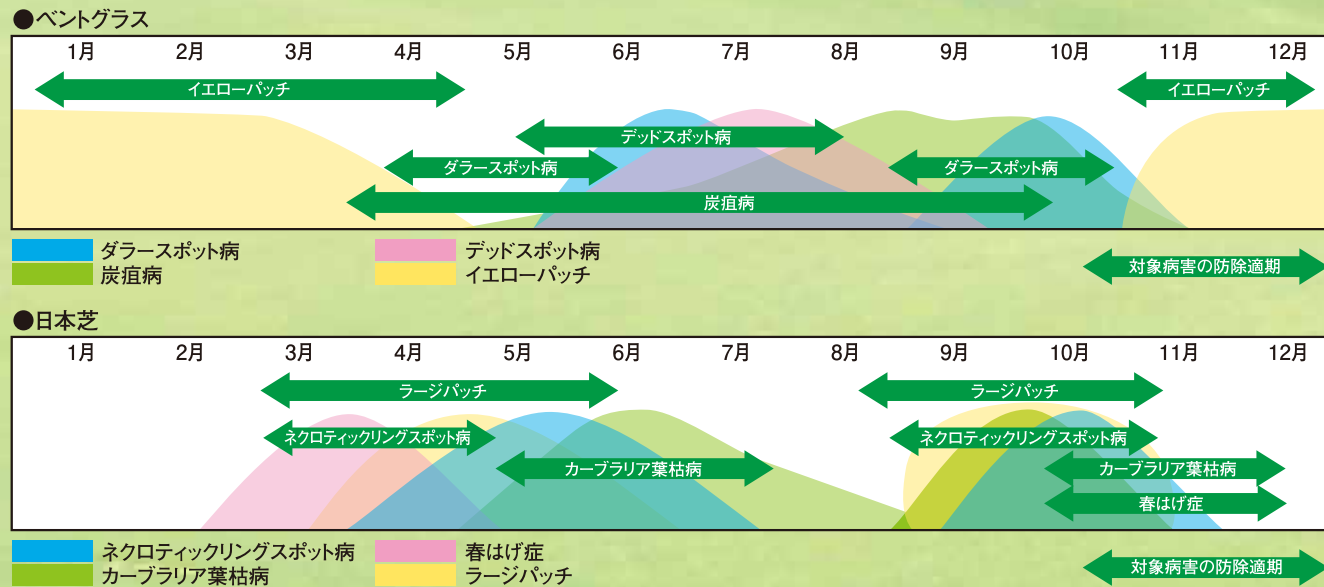
2. 既存薬剤耐性菌に有効。

本剤は、既存のベンズイミダゾール系殺菌剤、ストロビリリン系殺菌剤及びEBI剤とは異なる作用機作を有する新規系統成分・ベンチオピラドを含む殺菌剤です。

3. 予防効果に優れる。

分生胞子の発芽阻害に優れるため、発病前から発病初期の予防的散布が効果的です。胞子形成阻害作用が強く、二次感染の防止や、菌糸伸長阻害作用による治療効果も期待できます。

主要病害の発生消長と防除適期



安全性

人畜毒性(原体):普通物*

急性毒性	ラット LD ₅₀ > 2000mg/kg(経口)	2001年
	ラット LD ₅₀ > 2000mg/kg(経皮)	2002年
	ラット LD ₅₀ > 5669mg/m ³ (吸入・4h)	2003年

(RCC LTD.委託試験)
*「毒物及び劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けていない物質を示す。

天敵に対する影響(原体)

タイリクヒメハナカメムシ、ミヤコカブリダニ、ヒメクサカゲロウへの影響は少ないことが示されました。

(2004年 日本植物防疫協会委託試験)

水産動植物に対する影響

	原体	製剤
コイ	LC ₅₀ (96h)	0.57ppm
ミジンコ	ErC ₅₀ (48h)	2.53ppm
緑藻類	ErC ₅₀ (72h)	> 4.02ppm

(2005年 化学物質評価研究機構)

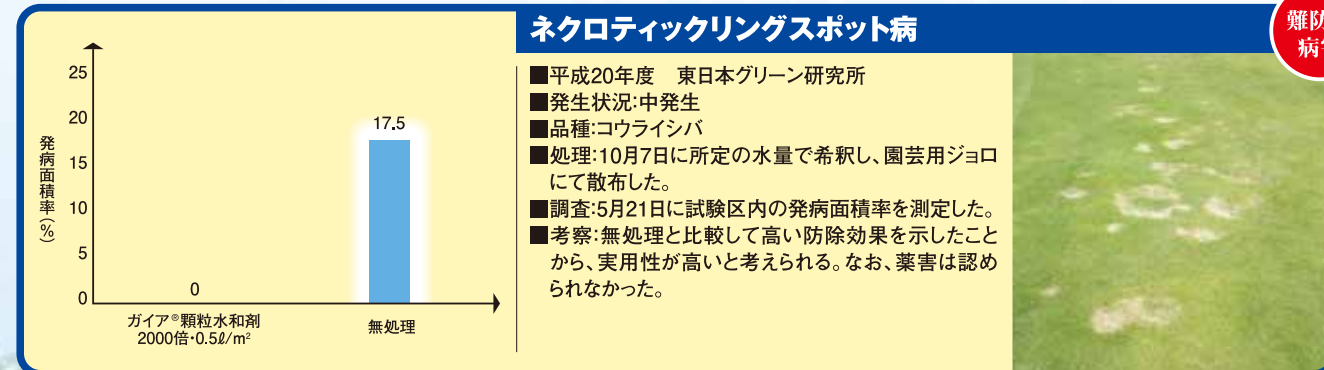
蚕に対する影響*

散布3日後以降の給餌でも蚕に対して影響がありませんでした。(安全日数3日)

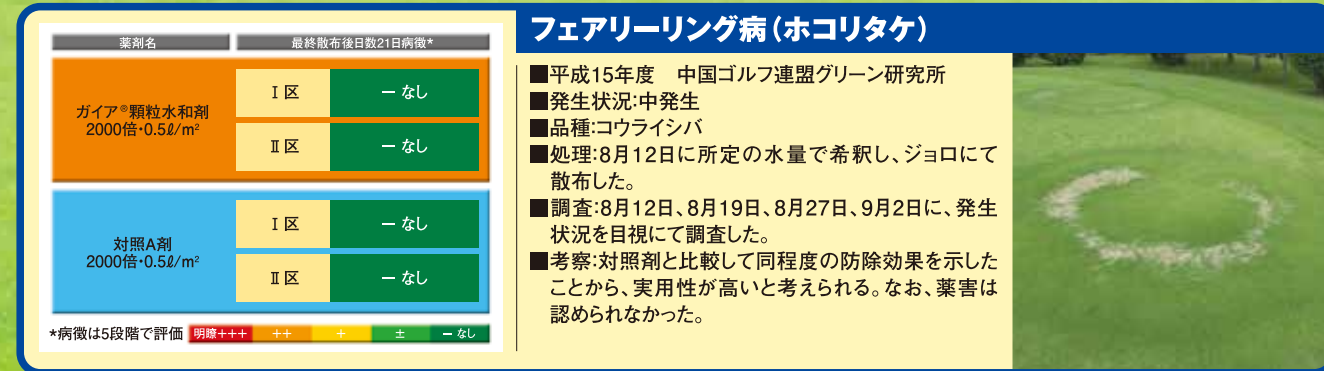
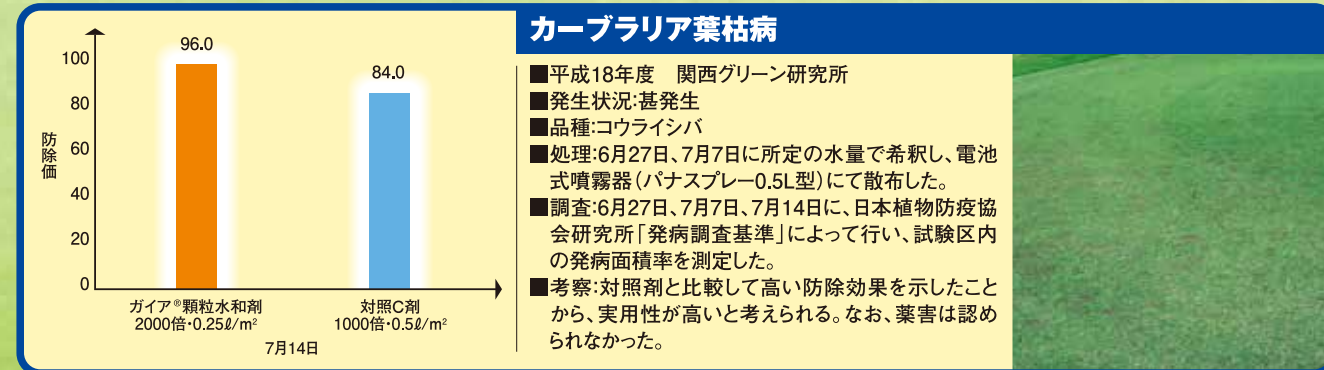
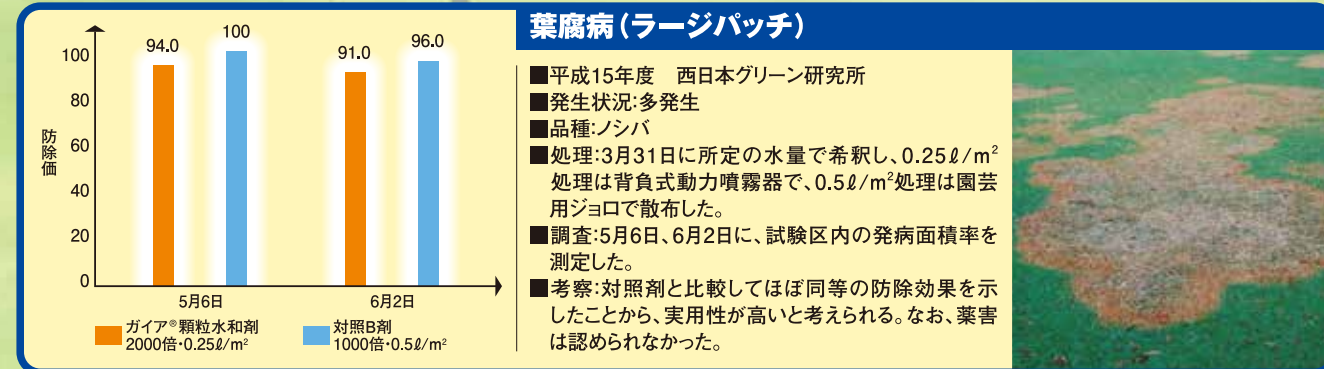
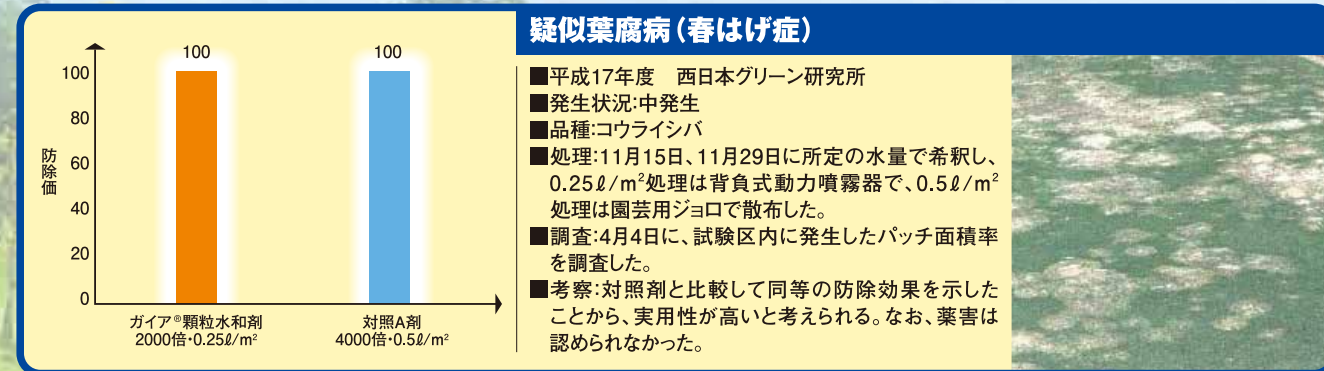
(2005年 群馬県蚕業試験場)

*蚕に対して影響があるので、周辺の養蚕にはからないようにしてください。

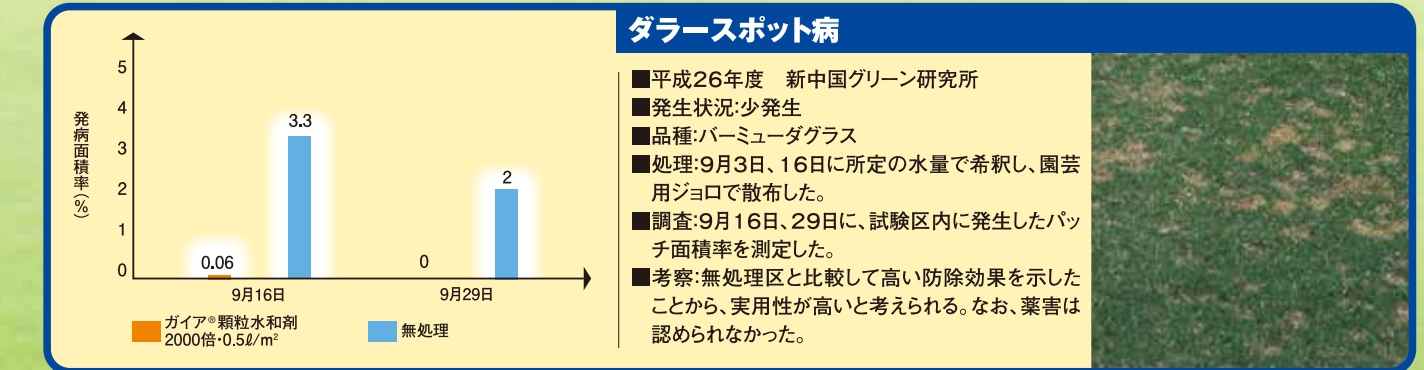
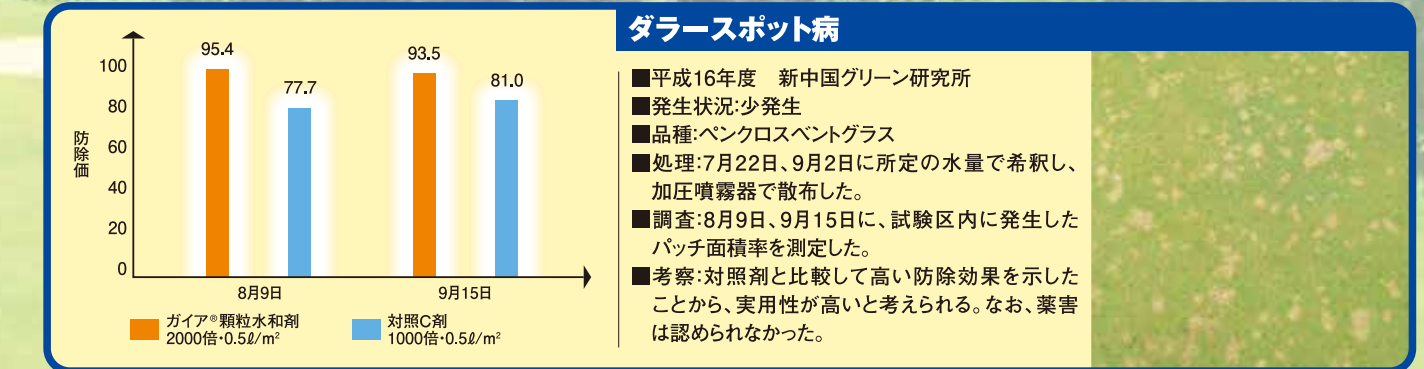
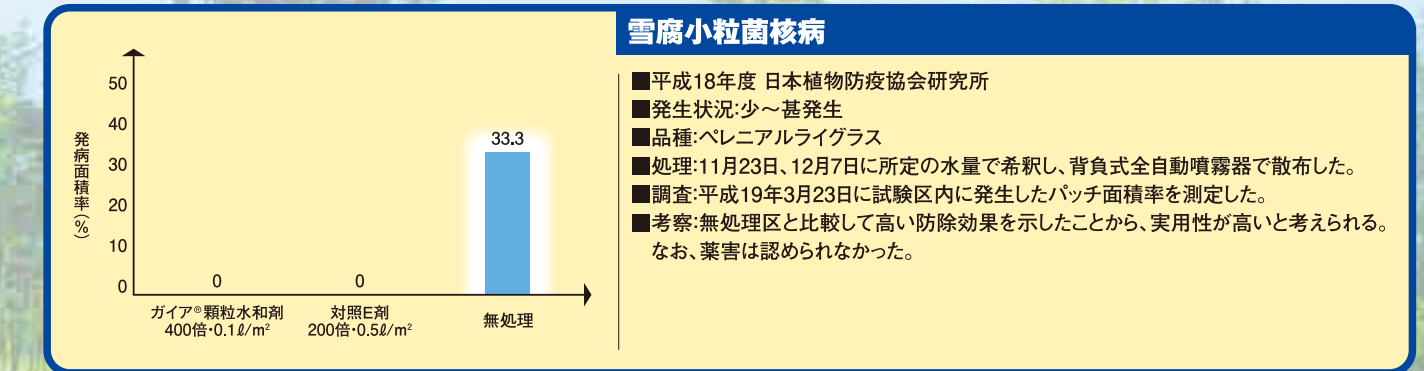
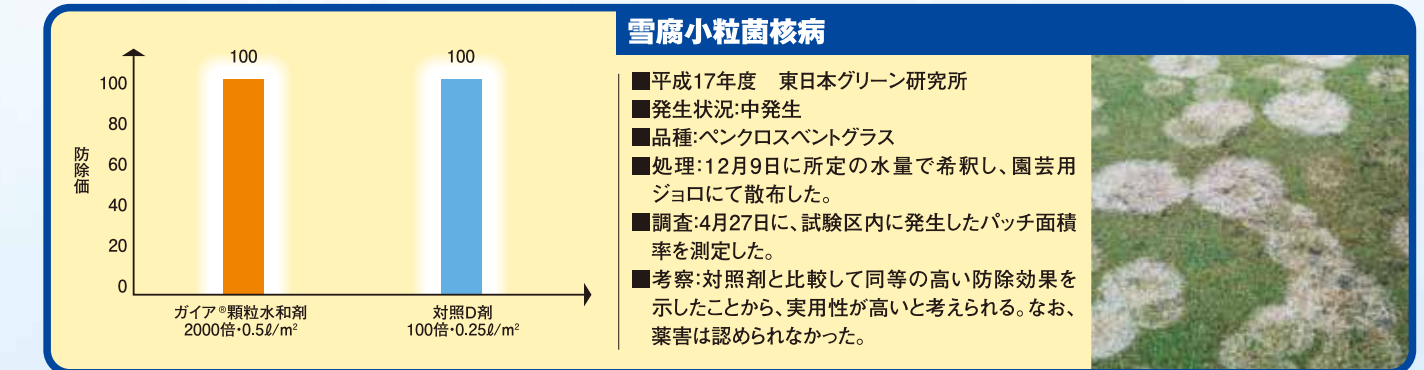
各種病害に対する効果(日本芝)



難防除病害



各種病害に対する効果(西洋芝:ベントグラス・ライグラス・ブルーグラス・パーミュダグラス)



パーミュダグラスの安全性

供試薬剤	薬量(m ² 当り)	調査日と薬害状況					
		9/5	9/12	9/16	9/20	9/26	10/3
ガイア顆粒水和剤	0.5g(倍濃度)	-	-	-	-	-	-
	0.25g	-	-	-	-	-	-

*一薬害なし

■平成23年 造成当年度Aゴルフ場グリーン(株)理研グリーン調べ) 10月3日に、薬害程度を目視にて調査した。
■品種:パーミュダグラス(ワルトラドワーフ) 10月3日に、薬害程度を目視にて調査した。
■調査:平成23年8月31日に通常及び倍濃度5日~33日後まで薬害は認められなかった。
■処理:平成22年4月5日に通常及び倍濃度の薬量を所定量の水で希釈し、加圧式噴霧器で散布した。

ブルーグラスの安全性

供試薬剤	薬量(m ² 当り)	調査日と薬害状況				
		4/15	4/22	4/28	5/7	5/11
ガイア顆粒水和剤	0.5g(倍濃度)	-	-	-	-	-
	0.25g	-	-	-	-	-

注)萌芽時期の確認試験(登録上の使用時期と異なります)。

■平成22年(株)理研グリーン 研究所内ケンタッキーブルーグラス圃場(静岡県) 試験区内の薬害程度を目視にて調査した。
■品種:フリーダム3(慣行管理) 試験区内の薬害程度を目視にて調査した。
■調査:平成22年4月5日に通常及び倍濃度の薬量を所定量の水で希釈し、加圧式噴霧器で散布した。
■処理:平成22年4月5日に通常及び倍濃度の薬量を所定量の水で希釈し、加圧式噴霧器で散布した。
■考察:通常及び倍濃度処理において、10日~37日後まで薬害は認められなかった。

*本印刷物の試験成績における社内試験及び特に注釈があるもの以外は、「一般委託試験成績」・「新農薬実用化試験成績」(日本植物防疫協会)より一部転記しております。